

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 稲城市立稲城第三中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒 206-0812
稲城市矢野口3043

E-mail : inagi3j@educet.plala.or.jp

Website : <http://academic1.plala.or.jp/ine3j/>

児童生徒数：男子 231名 女子 224名 合計 455名
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1 プロジェクトの実施方法

本校は平成25年9月30日にユネスコ・スクールとして承認された。本校の本年度のESDの取り組みは以下のとおりである。

(1) 取り組みの目的・育みたい力

- ・地域社会に目を向けさせ、環境学習、職場体験、ボランティア活動、地域行事への参加等を通して持続可能な社会づくりに向けての課題を見出し解決していこうとする態度を育成する。
- ・日本の美しい風土によってはぐくまれ伝えられてきた日本の情操や伝統・文化について、それらに対する理解を深め、大切にすることを育み、広く発信する態度の醸成を通して、世界に羽ばたく日本人となるための基盤を育む。

(2) 主な取り組み

- ・学校独自で作成した「稲城三中ESDテキスト」を用いて、日本文化、国際理解、人権、環境・エネルギー、防災等について、各教科等で横断的に学習する。
- ・野沢宿泊体験学習（1年）、職場体験（2年）、東京フィールド・ワーク（2年）など、稲城や東京、野沢など、それぞれの地域に根ざした教育活動を進め、持続可能な社会づくりのための課題を見出し解決する学習を行う
- ・「日本の伝統・文化」に重点をおき、各教科等で体験等を通して横断的に学習する。
- ・地域防災への意識を高め、地域の中で主体的に行動できる人材を育成するため、地域と協働して防災学習に取り組む。
- ・環境教育の一環として「養蜂」について学ぶ。
- ・東京都教育委員会が主催する「夢・未来プロジェクト」や「JETプログラム」で、外国人アスリートやマナー講師による講演、外国人留学生との授業内での交流活動を通して、オリンピック・パラリンピック教育を推進する。

2. 具体的な取り組み内容

(1) 地域に根ざした課題解決学習

① 2年生職場体験（6/21～23）・3年生保育体験（8/24～26）

※3年生は希望者のみ

生徒数に応じた体験先を確保することが難しいため、学校支援コンシェルジュ（学校支援コーディネーター）が仲介役となって体験先をすべて確保している。職場体験では、個々の生徒が、地域に根ざした課題をもって体験を行い、その結果を新聞の形にまとめた。

② 2年生東京フィールドワーク（1/17）

主として上野や浅草など、東京都の文化・伝統及び先進的な技術などについて、事前に課題を設定し、フィールドワークを通して解決を図る学習をした。その結果についても班ごとに模造紙にまとめた。後日、班でまとめたものをJETプログラムで招いた外国人留学生に英語で説明する取り組みも行なった。東京フィールドワークはオリンピック・パラリンピック教育の一環としてもとらえ、東京の魅力を他の国の人たちに発信する取り組みへと発展させている。

③ 1年生野沢宿泊体験学習（1/24～27）

稲城市と友好都市関係にある長野県野沢温泉村での宿泊体験学習を行い、学級毎男女別に民宿に分宿し宿の方との交流を深めた。野沢温泉村では、伝統的な食文化である「野沢菜」や雪国での住まい、伝統行事である「道祖神祭り」、歴史的な風呂「外湯」などに触れることができる。課題をもって現地に行き、宿の方との

交流や実際の観察、現地の方へのインタビューを通して課題解決に取り組んだ。

(2) 日本の伝統・文化に関する取り組み

日本の伝統・文化を学ぶことは持続可能な社会づくりのために欠かせないことである。例えば、日本の伝統・文化には、日本の四季や自然を題材にしたものが多くみられ「環境」と深いかかわりがある。さらに、地域に根ざした衣食住に関わる伝統・文化については「文化」や「経済」とのかかわり、また、日本の伝統・文化を他国の伝統・文化と比較することで「国際理解」にも繋がる。これらの視点をもって、次のような取り組みを行なった。

①浴衣着付体験（9／5）

家庭科の授業において、日本の伝統的な衣食住などについて学習を進める中で、地域の方を多数招き、実際に浴衣の着方やたたみ方などを地域の方から教わった。

②箏の演奏（11月～12月）

音楽科の授業において、日本の伝統楽器である箏の演奏に取り組んだ。また、JETプログラムで招いた外国人留学生と授業で交流し、生徒が演奏方法を教えることで、日本の文化を外国に伝える取り組みも行なった。

③和菓子作り（2月～3月）

美術科の授業において、造形で和菓子作りを行なった。ここでもJETプログラムで招いた外国人留学生との交流を行なった。

(3) 地域防災教育

日本はかつて、地域で組織的に防災に取り組むことが当たり前であった。改めて、地域防災の意識を醸成し、自分や家族、地域の人々のために自主的に行動し、活躍できる人材を育成するため、地域と連携して防災教育に取り組んでいる。

①地区班別集団下校訓練（9／1）

防災の日に、地域の防災組織の関係者を招き、地域の方たちとともに集団下校訓練を行なった。

②稲城市防災訓練へのボランティアとしての参加（9／25）

本校を会場に行なわれた稲城市防災訓練にボランティアとして参加し、主に、資材の搬入・搬出や、トリアージ訓練での手伝いを行なった。

③3年生地域防災講話・炊き出し体験（3／8）

東長沼地区自治防災組織の方々を招き、非常食（アルファ化米）の炊き出し体験をした。有事に備えて、作業手順を教わりながら、パック詰めまで生徒が協力して行なった。また、自治防災本部長から、地域防災での心構えや、地域の人材として期待することなどの講話を伺った。

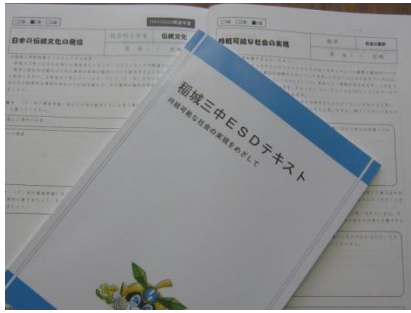
(4) その他の活動

①養蜂の授業

技術科において、地域の養蜂園の支援を受けながら、実際に校内に養蜂箱を設置し、養蜂を通した「生物育成」の学習を行なっている。「養蜂」は環境に大きく影響を受けるため、環境教育にも繋がっている。採取した蜂蜜を家庭科の調理実習の中で使い、花の違いによる味くらべをしたり、市民祭りで生徒が市民に販売する取り組みも行なっている。今年度は、本校の取り組みを東京都技術・家庭科研究会で研究発表し、都内各校の技術・家庭科教員へ発信した。

②おもてなし・マナー講座（11／9）

「夢・未来プロジェクト」で、「グローバルマナー概論」「おもてなし学」の講義を行っている江上いずみ先生を招き、全校で、東京2020に向けて外国人へのおもてなし・マナーについてのお話を伺った。



稲城三中ESDテキスト



職場体験



東京フィールド・ワーク



野沢温泉村宿泊体験学習



浴衣着付体験



箏の演奏（外国人留学生との交流）



地域防災・炊き出し体験

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）